

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 3 7

平成19年7月17日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

センセイコール (6)

9) テンキーで数字が打てない

テンキー、というのは、パソコン室のような、一般的なデスクトップ機のキーボードの右の方、電卓のように数字キーが固まっている場所のことです。この数字キーを押しても、画面に数字が出てこない、というのがこのセンセイコールです。

テンキーには、二つの使い方があります。

一つはもちろん、数字キーとしての使い方。もう一つは、スクロールに使います。

スクロール、というのは、画面を移動させることですが、矢印キー・Home・End・PageUp・PageDown の8種類のキーがあります。

デスクトップのキーには、ふつう、この8つのキーが独立して備わっていますので、わざわざテンキーを使わなくてもいいのですが、最近のデスクトップ機のキーボードは小さくてきているので、独立したスクロールキーがないものもあります。

数字キーと、スクロールキーを切り替えるのが、ナムロックキーです。キートップにはNumLk と書かれています。テンキーの上の方にあります。これはNumericLock、つまり、数字固定、という意味のキーです。キーが数字状態かスクロールキー状態かは、例えばパソコン室のパソコンの場合、テンキーの上部にランプで表示されています。ランプがついていれば数字、ついていなければスクロールキーです。こういうセンセイコールがあったら、NumLkのランプを見てみましょう。初期状態では、数字キーになっています。

ちなみに、ノートパソコンにもNumLkキーがあります。これは、キーボードの“1”を中心としたキー群をテンキーとして使えるようにします。キーの前面に数字が書かれているのでわかります。ノートパソコンは、キーボードが狭いので、テンキーを入れることができないため、数字をたくさん入力したいときに一時的にキーボードをテンキーとして使えるようになっています。電卓のような四則のキーも使えます。初期状態は、もちろんアルファベットのキーです。

作業によって、これらのキーを使い分けられるといいですね。